

先生各位

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用戴きたく
ご案内申し上げます。

謹 白

記

- 実施日 2008年3月31日(月)より受託開始

- 新規受託項目

検査項目	検体量	保存	所要日数	実施料	検査方法	基準値
HIV-1RNA定量 (項目コード: 4854)	血清 [※] 3.0mL	冷蔵	4~6日	510点 (微生物)	RT-PCR (リアルタイム PCR)	検出せず ^{※※} (コピー/mL)

<注> 尚、上記項目は2008年4月1日より実施料が520点に改定されます。

☆HIV感染/AIDSの病態診断および長期的な予後の判定に有用です。

HIV-1RNA量は検出限界以下であっても、完全に消失してはいないため、モニタリングには高い感度が求められます。

現行法では、患者の感染状態からウイルス量を予想し、標準法(HIV-1RNA定量)や高感度法(HIV-1RNA定量高感度法)を選択する必要がありましたが、リアルタイムPCR法では、その必要はなく、広範囲($4.0 \times 10^1 \sim 1.0 \times 10^7$ コピー/mL)でウイルス量を測定できます。

- ※ 検査必要量が増加するため、現行の3mL採血管から8mL採血管へ変更になります。
(専用容器となっておりますので、営業担当者にお申し付けください。)



- ※※ 定量報告下限値未満となった場合でも、
HIVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出した場合は、「40コピー/mL未満」
HIVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出なかった場合は、「検出せず」と報告されます。